



西小だより

学校 Web サイト URL <http://nishiurawa-e.saitama-city.ed.jp/>

～ よく学び 笑顔いっぱい 一人ひとりが輝く教育の推進 ～

【学校教育目標】

- 一夢がわき 心もはずむ 西小の子ー
- ・素直で心豊かな子
- ・進んでくり返し学習する子
- ・ねばり強くたくましい子

「3月」の声を聞くと、毎年思うこと

校長 竹谷 浩一

いよいよ3月。子どもたちも、教職員も、今の学年で共に過ごす日数はあと17日(6年生は16日)となりました。年間授業日数が202日ですから、もう残り僅かです。そんな中、西浦和小での1年が終わろうとしている私ですが、何となく淋しさを感じています。子どもたちにとって、夏の猛暑や感染症への不安、肌を突き刺すような寒さを乗り越え迎えた3月です。今となってはあつという間だったと感じていることでしょう。さあ、心躍る春はすぐそこまで来ています。最後まで気を緩めずに、心身共に健康で修了式(卒業式)の日を迎えてほしいです。

さて、各学級では、子どもたちの成長を振り返り、これまでの頑張りを認め合う時間を共有することで、安心して次の学年(学校)に進んでもらう取組が行われています。いわゆる「1年のまとめ」です。保護者や地域、学校関係者の皆さんからも、あらゆる機会を捉えて子どもたちの頑張りを褒めることで、これからの子どもたちの成長を後押ししていただきたいと思います。

3月4月は“別れと出会い”の季節です。冒頭でもお伝えしましたが、私を含め、大人は何となく淋しい気持ちを先取りしますが、子どもたちはまだ実感が湧いていないようです。今後、学年や学級ごとに1年を締めくくる「〇〇会」の計画を立てたり実施したりすると、急に切ない感情が込み上げてくるのだと思います。慣れ親しんだ環境とこれまで自他の努力で築き上げてきた人間関係がリセットされるため、子どもたちにとっては一大事です。例年、心が過剰なまでに不安定になるケースも見られます。保護者から見て、お子さんにそんな様子が見られる場合には、まずは親子でじっくり話し合ってみてください。それでも解決の糸口が見つからない場合は、遠慮することなく学校に相談してください。一緒に考えていきましょう。

この1年の締めくくりとして、子どもたちにメッセージを送りたいと思います。もしよろしければ内容を易しくするなどして、お子さんに読み聞かせてください。

【1年生から5年生の皆さんへ】

皆さんにとって、西浦和小学校でのこの1年間はどうか。誰もが楽しかったことや悲しかったこと、たくさんあったと思います。途中で転入してきた人は、学校に慣れましたか。今の学年での数々の経験が皆さんの心と体を強くしてきました。だから胸を張って次の学年に進みましょう。新しい環境への不安があるかも知れませんが、ワクワクする出来事が皆さんをきっと待っています。焦らなくていいので、これからも自分らしく、いろいろなことにチャレンジしてくださいね。

【6年生の皆さんへ】

いつも西浦和小学校を支えてくれてありがとうございます。3月は6年生としてではなく、卒業生として参加する行事が続きますね。6年生を送る会、卒業奉仕活動、卒業式…と忙しいですが、どれも外すことのできない大切な行事ばかりです。西浦和小第60代卒業生としての誇りをもって参加してください。これからも皆さんの活躍を願っています。皆さんと一緒にこの1年を過ごせて、素敵な思い出がたくさんできました。本当に嬉しいです。ありがとうございます。

校長のつぶやき

今、どの学校も課題が山積しています。いじめ・不登校の問題、家庭環境(親子関係)、学力向上等まさにてんこ盛りです。教職員は時間外まで日々対応に追われています。そんな時、保護者や地域の皆さんからふっと「いつもお世話になっています。ありがとうございます。」と声を掛けてくださるだけでこれまでの苦労が一瞬で吹き飛びます。教職員も同じ気持ちです。いつまでも教職員と保護者や地域がそんな関係で結ばれていたらいいなあ～と思います。賛同していただけますか?